

## 赤坂地区

### 売買状況

(土地・建物)

長期化しているコロナ禍の中で、住宅系のマンション価格は若干ではあるが値上がり傾向で、商業オフィスビルについては空室も目立っており、コロナ禍以前の売買価格までは戻っていない。

しかし、緊急事態宣言が明けてから売買に伴う賃料相場等の問合せも増加し、8月には赤坂3丁目の比較的大きい店舗ビルが売買された事例もあり、今後商業ビルの売買も活発になってくることが予想される。

### 賃貸状況

8月は緊急事態宣言にも関わらず、10坪～20坪のバー・クラブの需要が急上昇し長期空室に歯止めがかかった。またサービス店舗や飲食店も新規出店に向け積極的な動きが見られ、スケルトン店舗の引き合いも増加した。

大型の店舗物件は、大人数での飲食が制約されている状況が継続している為、出店計画の動きはまだ鈍い様子だ。

オフィスビル市況は、テレワークの浸透によりニーズが小型化しており新築ビルの動きにも停滞感があり、今後の賃料相場に不安が見られる。

### 街の状況

延期されたオリンピック・パラリンピックが7月後半から8月にかけて開催されたが、コロナウィルス感染者の爆発的な増加と緊急事態宣言中による酒類提供の禁止などにより、目に見える形での街の盛り上がりはなかった。

何度にも渡る蔓延防止等重点措置や緊急事態宣言で、テレワークや在宅勤務が通常化しているが、緊急事態宣言解除後は、会社員やOLが複数でランチを楽しむ光景が多く見られ、以前の活気ある赤坂の街に戻りつつある。但し、未だ大人数での会食や歓送迎会等について一定の制限を設けている企業も多く、夜の人出は通常の半分程で、外食を取り巻く環境は非常に厳しい。